公益社団法人日本サーフィン連盟
2025 年度（令和 7 年度）事業報告書
（2025 年 1 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

＜総務本部＞

【総務委員会】　＜公益目的事業 1：環境整備等事業（国内・国際）＞

1. 正会員及びオープン会員の募集及び登録業務を行いました。
2. 正会員及びオープン会員の更新案内を個人へ発送しました。
3. 2025 年度正会員登録状況を、支部長や各チーム代表者がインターネットで確認できるシステムの運用を行いました。
4. 11 月に次年度正会員登録手続きについてチーム代表者に案内し、会員募集を行いました。
5. 会員に対する保険等の対応を行いました。
6. 議案等を作成し、各会議へ提案しました。
7. 事務局の就業規則を適正に管理し、事務局業務の円滑化及び効率化を図りました。
8. 個人情報の適正な管理を行いました。
9. 独立行政法人日本スポーツ振興センターにスポーツ振興くじ及びスポーツ振興基金を申請、大会開催地の関係機関等に助成を申請し、公益事業の補助対応を行いました。
10. 大会の開催に関し、多くの人に知ってもらう為にスポーツ庁及び海上保安庁等に後援申請を行いました。
11. 他業種（JT）との連携を図り、連盟の活性化を図りました。
12. 社会貢献活動として、NSA サーファーズビーチクリーン ACT 2025（全国一斉ビーチクリーン）について、事前にゴミ袋等を配布し、実施しました。

    日時　2025 年 9 月 7 日（日）または 14 日（日）

    場所　全国の海岸　60 ヶ所以上
13. UMI 協議会及びボートショー（2025）等に参加し、一般の方々にサーフィンの楽しさを情報発信しました。
14. 各種助成団体の調査及び加盟について、スポーツ庁等にヒアリングへ行きました。
15. 公認会計士による監査の強化を実施しました。
16. スポーツ団体ガバナンスコードに準じた組織運営作りを進めました。
17. 公益財団法人日本オリンピック委員会及び公益財団法人日本スポーツ協会にスポーツ団体ガバナンスコード〈中央競技団体向け〉を自己説明しホームページにて公表しました。
18. 2026 年正会員及びオープン会員の募集及び登録業務を行いました。
19. 2026 年正会員及びオープン会員の更新案内を個人へ発送しました。
20. 2026 年度正会員登録状況を、支部長や各チーム代表者がインターネットで確認できるシステムの運用を行いました。
21. 第 59 回全日本サーフィン選手権大会（2025 年 10 月、静岡県牧之原市・静波海岸）の開催にあたり、台風 15 号の竜巻被害を受けた牧之原市を支援するため、各種復興支援活動を実施しました。オリンピアン 4 名（大原洋人選手、稲葉玲王選手、都筑有夢路選手、松田詩野選手）の使用済みサーフボードを出品したチャリティーオークションを開催しました。

また、大会会場にて募金活動を実施し、チャリティーオークション売上の一部と合わせた計 100,000 円を牧之原市への災害寄付金として寄贈しました。

【普及開発委員会】 ＜公益目的事業 1：環境整備等事業（国内・国際）＞

1. 各地域における情報伝達、意見交換の場として、統括組織代表者意見交換会等を実施しました。
2. 全日本サーフィン選手権大会の開催時に地区統括組織代表者会議を開催しました。
3. サーフィン愛好者拡大を目指し、都道府県スポーツ協会への加盟にあたっての助言、指導、助成を行いました。
4. 全国の地区統括組織のブロック化を推進しました。

【コンプライアンス委員会】 ＜公益目的事業 1：環境整備等事業（国内・国際）＞

1. 倫理規程及び倫理に関するガイドラインを見直しました。
2. 会員及び役員・委員に対し、コンプライアンス遵守を徹底しました。
3. サーフィン界のコンプライアンスの啓発活動を実施しました。
4. YEARBOOK にコンプライアンスについて掲載し、周知を図りました。

＜強化本部＞

【国際委員会】（ISA コーチング・ジャッジ資格管理） ＜公益目的事業 1：環境整備等事業（国内・国際）＞

1. 派遣大会地域の国及び現地情報を把握し、フィードバックを行いました。
2. 本連盟が関連する国際大会・事業等の企画運営をしました。
3. ISA との連携を深め、情報交換を実施しました。
4. 国際大会の事前交渉等の円滑化を図りました。
5. オリンピックでのサーフィン競技の継続的な実施へ向けて働きかけを行いました。
6. 国際機関と連携しサーフィンの普及発展に努めました。
7. アジア地域のリーダー国としてサーフィンの地域発展を進めました。
8. 公益財団法人日本オリンピック委員会等の事業連携や会議出席を行いました。
9. アンチドーピング医科学委員会と連携し、WADA 及び JADA の定めるアンチドーピングを進めました。
10. スポーツ関係機関との連携を図りました。
11. 国際スポーツ界で活躍する人材を育成しました。
12. 国際レベルのジャッジ育成のため、ISA ジャッジ講習会を実施しました。
    開催日：2025 年 7 月 12 日（土）
    講　師：渡辺　学　氏（NSA ジャッジ委員長）
    会　場：全労連会館 304・305 会議室およびオンライン会議システム Zoom
    受講者：22 名
13. ISA コーチング及び ISA ジャッジ資格を管理しました。

【強化委員会】（波乗りジャパン、SUP、パラサーフィン等）　＜公益目的事業1：人材育成事業＞

1. 強化合宿を行い、世界レベルの選手の育成・強化を進めました。
2. 世界レベルのコーチの育成を行いました。
3. 強化指定選手制度を設け、ISA大会にて優秀な成績を収めた強化指定選手（プロアマ問わず）に報奨金を支払う準備を整えました。
4. 強化指定選手に国際大会の選手参加費のサポート、主催大会の参加費免除、強化合宿費のサポートなどを実施しました。
5. 国際大会の派遣選手及び派遣役員を選考・選出しました。
6. JOCとの連携により、国際大会で勝利できる選手育成を実施しました。
7. 強化戦略プランを作成し、プランに基づいたジュニア選手を育成しました。
8. 強化指定選手を対象とした強化合宿を実施するとともに、管理を行いました。
    - 3月新強化指定選手強化合宿（千葉・鴨川　2025.3/7-8、2026.3/21-22）
    - ジュニア・シニア強化合宿

      ナショナルトレーニングセンター・サーフィン競技強化拠点

      ：静岡・静波　2025.1/25-26、4/21、5/12、7/13、7/24-25、12/19-20、2026.1/31-2/1

      海での強化練習

      ：千葉・一宮　2025.8/18-19

      ：湘南・鵠沼　2026.2/21-22
9. 世界選手権大会の選考試合（JAPAN OPEN OF SURFING）の開催を検討しましたが、見送りとなりました。
10. 以下の国際大会等へ選手を派遣しました。
    - 2025 ISA WORLD SURFING GAMES　9/5-14　エルサルバドル
    - 2025 ISA WORLD LONGBOARD SURFING CHAMPIONSHIP　4/25-5/1　エルサルバドル
    - 2025 ISA WORLD JUNIOR SURFING CHAMPIONSHIP　12/5-14　ペルー
    - 2025 ASIAN SURFING CHAMPIONSHIP　8/3-12　インド
    - 2025 ISA WORLD SUP AND PADDLE BOARD CHAMPIONSHIP　11/10-15　エルサルバドル
    - 2025 ISA WORLD PARA SURFING CHAMPIONSHIP　11/2-7　アメリカ
11. 国際大会等で得た最新の情報をフィードバックしました。

【アスリート委員会】　＜公益目的事業1：環境整備等事業（国内・国際）＞

1. アスリートからの意見を集約し、事業や強化活動へ反映させました。
2. アスリートの環境整備を提案しました。
3. JOCアスリート委員会の活動に参加しました。

【アンチドーピング医科学委員会】 ＜公益目的事業1：環境整備等事業（国内・国際）＞

1. アンチドーピング活動を徹底するとともに周知活動を実施しました。
   アンチドーピングOTC使用可能薬リスト作成
   ISA大会に向け、波乗りジャパンで持参するOTC購入リストの作成と購入依頼
2. ドーピング検査については、当委員会の役割ではないため実施しませんでした。
3. サーフィンに関する医学的な調査研究を実施しました。
   第59回全日本サーフィン選手権大会にて傷害調査のオンラインアンケートを実施しました（サンプルサイズの確保が課題として残りました）。
4. 強化選手等を対象に専門的知識の理解を深める活動を実施しました。
   ISA WORLD JUNIOR SURFING CHAMPIONSHIP事前合宿（2025.11.13-14）にて、海外遠征での注意点（ドーピング含む）やコンディショニングに関する講義を実施しました。
   強化合宿（2026.3.21-22）にてアンチドーピング講習、メディカル相談を実施しました。

＜事業本部＞

【事業委員会】 ＜公益目的事業1：一般向け普及事業、関連商品販売事業＞

1. オフィシャルパートナー・各主催大会・プールスクール事業の協賛募集活動を行いました。
2. 主催大会・派遣大会の結果をオフィシャルパートナーに報告しました。
3. NSAネットショップ（ALOHA STORE）にて、NSA関連商品を販売しました。
4. 主催大会会場にて、NSA関連商品を販売しました。
5. 主催大会の参加賞TEEシャツや大会役員用帽子を作成しました。
6. 収益事業の提案を行いました。
7. 会員特典の拡充を行いました。
8. 会員数増加の為の周知活動を行いました。
9. ボディボードサーキットを展開しました。
10. 2026年オフィシャルパートナー・各主催大会・プールスクール事業の協賛募集活動を行いました。
11. 日本サーフィン連盟設立60周年記念パーティーを開催しました。

【企画委員会】 ＜公益目的事業1：一般向け普及事業＞

1. 事業委員会、広報委員会と連携し、委員会としての方向性検討と情報共有を行いました。また、各支部長や大会現場からの課題ヒアリングを行いました。
2. 新規事業の提案を行いました。（新規会員獲得のため、新カテゴリーや新検定級案）

【広報委員会】 ＜公益目的事業1：一般向け普及事業＞

1. 「YEARBOOK」を2025年5月中に全会員と公認ジャッジ、公認指導員、協力店、統括組織代表者へ郵送しました。

2. 全日本選手権・全日本級別選手権・マスターズオープン等の大会プログラムと大会ポスター（地域等限定）を作成し、配布しました。
3. NSA オフィシャルサイトと連動を図り、最新情報を広く配信しました。
4. NSA オフィシャル SNS（主にインスタグラム）においてファン獲得に向けた配信活動を行いました。
5. NSA オフィシャルサイトに主催大会結果、写真等をアップしました。
6. 協力店等に「ルール&マナーブック」を無料配布しました。
7. 「ルール&マナーブック」を主催大会、公認大会にて無料配布しました。
8. 春のインタースタイルにブースを出展しました。
9. 各主催大会のライブ配信において CM 協賛の募集活動を行いました。
10. イヤーブック等の印刷物の予算獲得に向け、日本スポーツ振興センターへの申請及び報告業務を行いました。

＜競技本部＞

【大会開催委員会】 ＜公益目的事業 1：競技会事業＞

1. 第 33 回ジュニアオープンサーフィン選手権大会（2025）を開催しました。
   開催場所：神奈川県　藤沢市　鵠沼海岸
   開催日：2025 年 4 月 24 日（木）～27 日（日）
2. 第 42 回全日本級別サーフィン選手権大会（2025）を開催しました。
   開催場所：高知県　東洋町　生見サーフィンビーチ
   開催日：2025 年 5 月 14 日（水）15 日（木）～18 日（日）
3. 第 21 回マスターズオープンサーフィン選手権（2025）を開催しました。
   開催場所：静岡県　下田市　白浜海岸
   開催日：2025 年 9 月 4 日（木）～7 日（日）
4. 第 59 回全日本サーフィン選手権大会（2025）を開催しました。
   開催場所：静岡県　牧之原市　静波海岸
   開催日：2025 年 10 月 11 日（土）～18 日（土）　予備日 10 月 19 日（日）
   クオリファイ：2025 年 10 月 10 日（金）
5. 主催大会の構成や効率化を検討しました。
6. ポイントランキング制度を改定しました。
7. 公認大会の運営管理及び開催要項の改定を行いました。
8. 公認大会のエントリー及びその他詳細について NSA オフィシャルサイトに掲載しました。
9. 公認大会支援事業として、エリアフラッグ、タイムフラッグ、ゼッケン等を貸与しました。
10. 第 42 回全日本級別サーフィン選手権大会、第 21 回マスターズオープンサーフィン選手権、第 59 回全日本サーフィン選手権大会にてライブ中継を検討しました。
11. 2026 愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会と連携して開催準備を行いました。
12. 各競技部会の構成や効率化を検討しました。
13. 第 3 回全日本パラサーフィン選手権（2025）を開催しました。（パラ競技部会）

開催場所：三重県　志摩市　国府の浜海岸

開催日：2025 年 6 月 28 日（土）

14. 第 4 回 JSUPPC「ディスタンス・テクニカル・スプリント・ジュニア」（2025）を開催しました。（SUP 競技部会）

開催場所：静岡県　白浜大浜（静岡県下田市白浜）外浦海岸（静岡県下田市柿崎）

開催日：2025 年 7 月 12 日（土）～13 日（日）

15. 第 4 回 JSUPPC「SUP サーフィン選手権大会」（2025）を開催しました。（SUP 競技部会）

開催場所：神奈川県　藤沢市　鵠沼海岸　地下道前

開催日：2025 年 10 月 3 日（金）

16. NSA ボディボードサーキット 2025 IN KAMOGAWA の開催を検討しましたが見送りとなりました。（ボディボード専門委員会）

17. ロングボード選考大会 Presented by MAXIM CRAFT SUITS（2026）を開催しました。（ロングボード専門委員会）

開催場所：神奈川県　藤沢市　鵠沼海岸

開催日：2026 年 3 月 27 日（金）

【ジャッジ委員会】　＜公益目的事業 1：人材育成事業＞

1. 公認大会にジャッジ派遣の要請があり派遣を行いました。
2. 主催大会の専任ジャッジを選出しました。
3. 国際大会ルールに準じて改定した競技ルールを施行しました。
4. 主催大会において、プライオリティルールを施行しました。
5. 主催大会においてジャッジシステム（リフレッシュ等）を使用しました。
6. 教育委員会より依頼があり、公認ジャッジ講習会に講師の派遣を行いました。
7. サーフィン検定にマスタージャッジの派遣の要請があった場合、派遣を行い全国での見解を統一しました。
8. 教育委員会と連携し、ジャッジ試験問題作成、試験後の採点作業を行いました。
9. ジャッジスキル向上のため、ISA および JPSA に選出したジャッジを派遣しました。
10. 強化委員会の依頼により、ジュニア育成キャンプに参加しました。
11. 強化委員会の依頼により、強化合宿へのジャッジの派遣を行いました。
12. 教育委員会と連携し、2025 年度版ジャッジテキストの改定を行いました。

＜教育本部＞

【教育委員会】（ジャッジテスト、ジャッジ講習会、サーフィン検定、スクール審査員）　＜公益目的事業 1：人材育成事業＞

1. サーフィン検定の開催スケジュールについて管理・調整を行い、一般の方々を含めた受験者を募集しました。

①検定基準の統一を目的に必要に応じてマスタージャッジの派遣手配を行いました。

②検定を通して開催地域のＡ級ジャッジからマスタージャッジを採用し、地域のジャッジ活動を促進しました。

2.　秋季公認ジャッジ講習会を 2025 年 12 月 14 日に開催しました。
3.　秋季公認ジャッジ資格試験を 2025 年 12 月 14 日に開催しました。
4.　統括組織主催の公認ジャッジ講習会へ講師の派遣を行いました。
5.　春季公認ジャッジ講習会（試験なし）を 2025 年 3 月 9 日に開催しました。
6.　2025 年度版ジャッジテキストの改定を行いました。
7.　スクール審査員講習会（試験なし）を 2025 年 3 月 9 日に開催しました。
※１～７の事業はジャッジ委員会と連携して行いました。
8.　サーフィンの教育普及活動に関する取り組みを行いました。
9.　2026 年春季公認ジャッジ講習会（試験なし）を 2026 年 3 月 8 日に開催しました。
10.　2026 年 3 月までにプールを利用したサーフィン体験会を開催しました。

【安全対策委員会】（公認指導員、海上安全指導員講習）　＜公益目的事業 1：人材育成事業、環境整備等事業（国内・国際）＞

1.　サーフィンに関する安全普及活動を実施しました。
2.　主催大会、公認大会等の安全管理を徹底しました。
3.　サーフィン環境の保全、改善による安全対策を計画し実施しました。
4.　海上保安庁、（一財）日本海洋レジャー安全・振興協会・（一社）ウォーターリスクマネジメント協会の事業と連携して公認指導員講習会を実施し、全国に指導員を配置しました。
5.　公認指導員講習会及び実技・試験を実施しました。
　　日　程：2025 年 3 月 1 日（土）
　　会　場：（一財）日本海洋レジャー安全・振興協会大会議室（横浜）
6.　主催大会会場での救急救命訓練・講習会の実施を検討しました。
7.　（一社）ウォーターリスクマネジメント協会に協力を要請し、主催大会での会場パトロール業務を行いました。
8.　公認指導員講習会及び実技・試験を実施しました。
　　日　程：2026 年 3 月 1 日（日）
　　会　場：（一財）日本海洋レジャー安全・振興協会大会議室（横浜）

■運営体制の充実をはかるための取り組み

1. スポーツ団体ガバナンスコードに準じた組織運営の推進
2. スポーツ団体ガバナンスコードの自己説明・ホームページ公表
3. 公認会計士による外部監査の実施
4. コンプライアンス委員会による啓発活動の実施

なお、令和 7 年 4 月 1 日施行の認定法改正を踏まえ、以下の取り組みを 2026 年度中に実施する予定。

・外部理事・監事の選任
・外部理事・監事への情報提供体制の整備
　※ 上記 2 点の実施状況については、2026 年度事業報告書に記載予定。